

ユニフォーム等の運用緩和について

Japan Football Association



1. 目的

2. 指導者・保護者からの意見_グラスルーツアンケート抜粋

3. 緩和項目

4. 8人制サッカー競技規則の変更・追加案

5. 対象大会/カテゴリー

5. 緩和項目の適用時期

6. 今後の予定

現状、JFAのみならず都道府県が主催している競技会において、競技規則・ユニフォーム規程に沿って運用されているが、グラスルーツレベルで活動する選手やその保護者には、無用の負担をかけることなく参加できるよう、ユニフォームの適用緩和を行い、柔軟に対応できる環境を整える。

【金銭的負担】

- ユニフォーム等の制限が多く**経済的負担**となっている
- ユニフォームを**2着揃える負担が大きい**
- 選手登録料等の軽減、ユニフォーム規定の緩和による**「家庭内サッカー経費」の削減**
- ユニフォームの規定が厳しくなっていますが、周りの友人や知人を集めて大会やリーグに試しに参加したいと思っても、ホーム&アウェイの2着のユニフォームが必要で、作るのには時間やけっこうなお金がかかりますので、腰が重くなって結局話が進まないことが多いです。ビブスなどで気軽に参加できる大会やリーグであってほしい
- 用具代がかからない**サッカーは子供の貧困を救えるスポーツ**であってほしいと思います
- U12までの試合において**ユニフォーム等の規則が厳しすぎ経済的に負担になっている家庭があり、辞めていった子供がいる**
- シニアサッカーの役員をしております。当県ではJFA登録を全員に義務付けており、選手、審判、指導者すべてに登録料が生涯毎年発生し、生涯サッカーをするには生涯金銭負担があります。グラスルーツでの金銭負担低減を検討いただきたい。また**ユニフォーム規定等は緩やかな運用ができるような規定も必要**と思います

【規程が厳しい】

- **主催者や審判がユニフォーム等の細かい規定にこだわり過ぎる**
- **選手のユニフォームの規定が厳しすぎる。**見分けがつけばいい
- 4種時点でユニフォーム全選手揃えるのは厳しい
- キーパーのユニフォームについて、もっと寛容に。控え選手ならビブス可能などに。また、選手のユニフォームについても、型が変わるなどメーカー都合で買い替えなければならない事情もわかってほしい。
- ユニフォーム等の制限が厳しい。**プロではないのだからそこまでしなくても見分けは十分つく。**
- **大会でユニフォーム規定が厳格なのはグラスルーツ的には逆行**していると思います。色があってもメーカーによる線やマークで認められない、GKもシャツ・パンツ・ストッキング全部違う色を求められるため、前後半でフィールドプレイヤーとの交代が困難、又背番号規定も厳しいので誰でもやらせるわけにはいかない。GKもフィールドの技術が必要な時代に何故と思います。
- 公式戦での登録および**ユニフォーム等の規定が厳しく誰もが気軽にサッカーを楽しむ環境には程遠い。**

【アンダーシャツ・ショーツ】

1

アンダーシャツは**シャツの各袖の主たる色と同じ色**で、1色とする。もしくは**シャツの各袖とまったく同じ色の柄**にする。

※アンダーショーツおよびタイツは、**ショーツの主たる色**、または、**ショーツの裾の部分と同じ色**でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

【競技規則第4条：競技者の用具】

2

【ソックステープ】

ソックステープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部の着用する場合、それを着用する、または覆う部分の**ソックスの色と同じもの**でなければならない。

【競技規則第4条：競技者の用具】

3

【フィールドプレーヤユニフォーム】

両チーム、異なる色彩のジャージ（シャツ）を着用する

※両チームのジャージ（シャツ）の色彩が同じ場合、また、同色彩のジャージ（シャツ）が揃わない場合、**競技会規定に定めがあればピブスを着用**して対応することが出来る。

【8人制サッカー競技規則：競技者の用具】

4

【選手番号】

選手番号について、**シャツの前面**及び**背面**には選手番号を必ず表示しなければならない。

【JFA規定・規約：ユニフォーム規定】

緩和項目

【アンダーシャツ・ショーツ】

アンダーシャツはシャツの各袖の主たる色と同じ色で、1色とする。もしくはシャツの各袖とまったく同じ色の柄にする。

※アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、または、ショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

【競技規則第4条：競技者の用具】

1



【緩和案】

アンダーシャツ、アンダーショーツについては、**シャツ、タイツと異なる色でも着用可能**とする。



【ソックステープ】

2

ソックス-テープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部の着用する場合、それを着用する、または覆う部分のソックスの色と同じものでなければならない。

【競技規則第4条：競技者の用具】



【緩和案】

ソックス-テープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部の着用する場合、**ソックスの色と同じものである必要はなし。**



【フィールドプレーヤユニフォーム】

両チーム、異なる色彩のジャージ（シャツ）を着用する

3

※両チームのジャージ（シャツ）の色彩が同じ場合、また、同色彩のジャージ（シャツ）が揃わない場合、**競技会規定に定めがあればビブスを着用**して対応することが出来る。

【8人制サッカー競技規則：競技者の用具】



【緩和案】

両チームのジャージ（シャツ）の色彩が同じ場合、また、同色彩のジャージ（シャツ）が揃わない場合、**ビブスを着用**して対応することが出来る

【選手番号】

4

選手番号について、**シャツの前面**及び**背面**には選手番号を必ず表示しなければならない。

【JFA規定・規約：ユニフォーム規定】



【緩和案】

選手番号について、シャツの背面には選手番号を表示し、**前面には選手番号を表示しなくてもよい。**

※8人制サッカー競技規則

競技会規程に定めがあればジャージ

(シャツ) に背番号をつける必要はない。

【8人制サッカー競技規則】



8人制サッカーにおける解釈の補足説明

【フィールドプレーヤユニフォーム】

両チームはお互いに、また審判員と区別できる色の服装を着用しなければばらばい。

【競技規則第4条：競技者の用具】



【補足説明】

ユニフォームを長年使用している場合に、デザイン変更などで全く同じ色・デザインのユニフォームを揃えることが出来ない場合、**競技運営に支障をきたさない範囲で、同色、似たようなデザインであれば、着用することが出来る（メーカーは異なっても問題なし）。**



8人制サッカーにおける解釈の補足説明

【ゴールキーパーユニフォーム】

それぞれのゴールキーパーは、**他の競技者、審判員と区別出来る色の服装を着用**しなければならない。ゴールキーパーのシャツが同色で、両者が他のシャツと着替えることが出来ない場合、主審は競技をはじめめることを認める。

【競技規則第4条：競技者の用具（抜粋）】



【補足説明】

ゴールキーパーは、**シャツのみゴールキーパーのユニフォームを着用**していれば、パンツとソックスはフィールドプレイヤーのユニフォームを着用することが出来る。

緩和対象大会/カテゴリー

緩和すべき対象大会

全国大会を含めて全ての競技会にて適用していく

	全国大会	地域大会	都道府県大会	地区大会	地域リーグ
JFA主催	・ JFA U-12選手権 ・ O-40女子サッカー大会	ガールズ・エイト	・ JFA U-12選手権 都道府県大会 ・ O-40女子 都道府県大会	JFA U-12選手権 都道府県大会 ブロック大会	U-12リーグ U-11リーグ U-10リーグ
都道府県FA主催			● ● 県少年団大会 ● ● 県選手権	● ● 県少年団大会 ● ● 地区予選大会 ● ● 県選手権 ● ● 地区予選大会	
市町村サッカー 連盟主催				● ● 市大会	

対象とするカテゴリー

8人制サッカーで行われる競技会を対象とする

※他の種別においても、ユニフォーム規程や競技規則の適用緩和に向けたガイドラインを作成していく予定。

緩和項目の適用時期

2020年4月1日よりJFAとして適用開始

【競技会】

- ・ JFAU-12選手権： 2020年都道府県大会より適用
- ・ O-40女子サッカー大会： 2020年都道府県大会より適用
- ・ バーモントカップ： 緩和適用について継続検討していく

都道府県主催の大会につきましては、各都道府県の裁量によって、随時適用してもらう。

今後の予定

【確認済】

指導者養成部会	9月26日
育成部会	9月26日
技術委員会	9月27日

4種大会部会	10月16日
--------	--------

審判委員会	11月13日
-------	--------

9 地域代表理事会議

法務委員会	
-------	--

常務理事会	12月9日
-------	-------

理事会	12月12日
-----	--------

※年内に、都道府県・地域FA及び加盟登録チームに対して通達文書を発信予定